

# 金沢区文化協会設立総会

…… 金沢公会堂で3月18日 ……

# 金沢区文化協会会報

金沢区文化協会

編集人 広報部長  
岩瀬昭二  
☎701-0795

発行人 会長  
森下春陵  
☎783-1025



金沢区文化協会設立総会・祝賀記念式典

春とは名のみの冷たい雨の降る三月十八日(日)午後一時より、金沢公会堂で金沢区文化協会の設立総会が開かれ、三百名を超える方々の出席をいただいた。

第一部の設立総会は、司会者による開会のことばのあと、森下会長から「金沢区には沢山の文化団体があり、それぞれ活発な動きをしているが、それを統合する大きな文化団体がなかった。金沢区の行政サイドの文化行政も多方面に力が注がれ、生涯教育の支援も図られている。私共も毎年秋に行われる金沢区民文化祭を六年にわたり、文化祭実行委員会を中心に実施してきた。この中心の二十団体が母体となって文化協会を作ろうということになった。金沢区の文化活動の推進と文化交流の実現に努め、金沢をすばらしい地域にしたい」との挨拶があった。

この後事務局より経過報告・議案の説明並びに審議が行われ、役員紹介のあと、森下会長の文化協会設立宣言・万歳三唱、閉会のことばで総会が終了した。

引続き行われた第二部祝賀式

典には来賓三十名の出席をいただき、西郷匡美区長・金沢区選出議員・連合町内会長各位のご祝辞をいただいた後、琴の調べにのせて助川副会長作詞「発足を祝う歌」の朗読が流れた。

第三部記念音楽祭は、邦楽会員の方々による「春の海」の優雅な演奏、同じく会員百人を超える大コーラス、混声合唱組曲「月光とピエロ」は聴衆を魅了、ラストにこれも会員である金沢吹奏楽団のアメリカングラフィティなど、四十名の迫力ある演奏を披露、会場全体を熱気に巻き込み、四時半盛会裡に幕を閉じた。

なお、公会堂ロビーでは、茶道のグループの催すお茶席接待が参加者に喜ばれ、一方、書道・油絵・写真・短歌の皆様が作品展を開催、加えて、生け花や伝承折紙のグループの作品が華を添えた。

更に金沢区文化協会発会記念品として、当日の出席者にお配りした版画三枚組「武陽金沢八勝夜景」がすこぶる好評であった。ご尽力いただいた各位に深甚な謝意を表します。



# 金沢区文化協会発足に際して

## △△長 森下春陵



金沢区  
内の文化  
団体及び  
文化に携  
わつてい

現在の文化活動と歴史的文化的財産の調査保存を基幹として、これからの活動を続けてゆきた

いと思っております。人は皆それぞれ異なる文化的観念を持っていますので、取り纏めには苦勞が伴うと思えますが、中広い活動により補っていきたくと考えております。皆様方の温かいご支援をお願い申し上げます。

積極的な姿には全く頭の下がる思いだった。いよいよ平成七年三月十八日、設立総会の記念すべき誕生日を迎えた。総会と祝賀記念式典は多くの人々の祝福と期待をこめて、華やかなセレモニーの下に堂々と執り行われた。呱呱の声をあげたのである。関係者の喜びは溢れ、皆んな手をとりあつて感動を分かちあつた。

る人達が、お互いの活動を理解し合い、親睦を深めることによつて、私たちの住んでいる金沢を快適で充実したまちにしたい。ために三月十八日発足しました。

金沢区内には多くの文化人、文化団体がそれぞれの分野で立派な活動をしておられますが、地域に密着した活動とは言い難いものもありました。

又、私たちの住んでいる金沢には多くの貴重な歴史的文化的財産が残っていますが、あまり知られてなく、一部の人達が営々として保存努力されております。

### 金沢区文化協会誕生に思う

#### 事務局長 奥田 廣 實

『金沢に文化協会を作ろうじゃないか——』  
金沢区文化祭の  
実行委員会で、毎  
年数回顔を合わせ  
ている書道の森下  
さん（現会長）か  
ら声をかけられた。  
私はその時、細か  
い質問など一切せ  
ず、即座に答えた。  
『やりましょう。  
一緒に……』

『文化協会』が語られ始めた。そこから模索が始まった。共通のイメージ作りからスタートしたのである。創立発起人会をつく  
り、総会趣  
意書や規約  
の草案を  
作成し協議を重ねた。様々な議論が交錯し、曲折を経ながらも少しずつ形が見えるようになってきた。



平成四年七月三十日、文化祭実行委員会の常連五人が、非公式ではあるが初めての会合をもつた。能見台通の町内会館だった。とても暑い日であった。ク

総会の日にちが決まると、もう待ったなしの緊張の連続だった。発起人の皆んなは本当に真剣に取組み、協力し合った。見事なチームワークである。その

#### 編集後記

第一号をお届けします。暑さのせいにはたくはないが反省しきりです。会報のタイトルをもっと親しみやすいものと考えております。い、ネーミングをお知らせ下さい。（三頁下段参照）  
年二回発行のつもりです。よろしく。（岩瀬）

編集委員 岩瀬昭二 田野諒 森川淳子  
佐野史瑞子 吉澤政晴



# 「会員の相互理解を深めよう」 第一回文化講演会

## 金沢地区センターで開催

陽春三月十八日に金沢公会堂

で華々しく発足した当協会では  
去る七月九日、金沢地区センタ

ー大会議室に個人・団体を含む  
約七〇数名の会員が参加し、会  
員相互交流推進の場としての会  
員懇談会とあわせて、協会主催  
事業の第一回文化講演会を開催  
しました。

会場設営から受付・案内等々  
を各理事が手分けして、続々と  
詰めかける会員を応対し、広い  
大会議室がほぼ

満席となる頃に  
定刻を迎え、毎  
回手慣れた奥田  
廣實事務局長の  
総合同会によつ

て、第一部文化  
講演会の講師田  
野諒金澤郷土史  
研究会會長が登  
壇し、「旅と川  
柳」をテーマと  
した講演が行わ

れました。

「金沢八景加州だと知ったふり」  
和歌や俳句には「金沢八景」を

紹介する作品は多いが、川柳に  
は纏めにくいらしく目立つもの  
がないとのこと。この句を  
皮切りとして昔の旅姿を彷彿と  
させる川柳と共に、往来手形や  
東海道分間延絵図・將軍渡河図・  
道中日記等の資料も交えて、当  
時の旅の困難さが語られました。

「野雪隠地蔵暫らく刀番」

当時は、現今  
のように所々に  
トイレがある訳  
ではなく、又街  
中にさえ公衆ト  
イレの設備はな  
く、ただ裏長屋  
などには「総後  
架」と呼ぶ公衆  
便所がありまし  
た。このような  
時代の旅では木  
陰などが利用さ

れまし  
た。武士  
は刀をさ  
したまま  
で用を足  
すことも  
ならず、  
止むを得  
ず大小を  
お地藏さ  
まに預け  
て草叢に入ることになるのだそ  
うです。

資料に記載された四十句の半

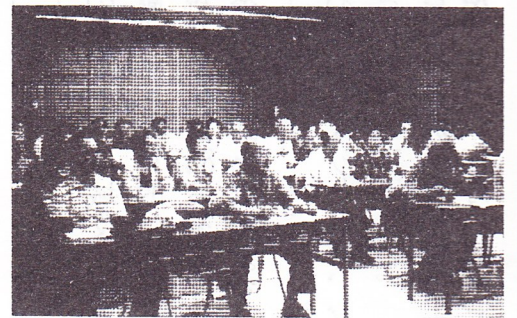
ばで「次回のお楽しみ」となり

ました。「この講演の続きを聞  
きたい」との声もあり、田野講  
師も「機会を与えられるならば  
完結したい」とのことです。

引き続き第二部として会員懇  
談会が行われ、冒頭、車椅子に  
乗った森下春陵会長の挨拶があ  
り、協会設立までの経緯、今後  
の活動指針を開陳して会員の協  
力を要請しました。その後会員  
からの意見・希望等を含む懇談  
が行われました。最後に会報発  
行を決定して、第一回文化講演  
会・会員懇談会を終了しました。

引き続き第二部として会員懇  
談会が行われ、冒頭、車椅子に  
乗った森下春陵会長の挨拶があ  
り、協会設立までの経緯、今後  
の活動指針を開陳して会員の協  
力を要請しました。その後会員  
からの意見・希望等を含む懇談  
が行われました。最後に会報発  
行を決定して、第一回文化講演  
会・会員懇談会を終了しました。

引き続き第二部として会員懇  
談会が行われ、冒頭、車椅子に  
乗った森下春陵会長の挨拶があ  
り、協会設立までの経緯、今後  
の活動指針を開陳して会員の協  
力を要請しました。その後会員  
からの意見・希望等を含む懇談  
が行われました。最後に会報発  
行を決定して、第一回文化講演  
会・会員懇談会を終了しました。



## 理事会だより

4・28 理事会を毎月一回開催する

こと。文化講演会を7・9に田  
野理事の「旅と川柳」の題目で  
開催、引き続き会員懇談会を開き  
会員との意志の疎通を図る。

5・23 7・9の文化講演会の役割

分担、文化協会の今後の事業計  
画検討(金沢郷土芸能発表会・  
生涯教育構想・金沢スケッチク  
ラブ・区内高校と連携しての文  
化活動等)

6・20 文化講演会の手順の確認。

十月の第七回区民文化祭に本年  
も全面的に協力。金沢区内の風  
景・行事を対象の写真展を九月  
に開催。

7・25 文化協会会報の発行とその

スタッフ確定。区民文化祭の展  
示部門の委員の選任。金沢区内  
の高校との文化活動について、  
当協会は実績がないのでアンケ  
ートにする。

書道協会より筆塚建立の件提  
案あり、文化施設として意義が  
ある旨説明。

## 会・員・募・集

ふんか大好き人間募集

何かしたい、何か発信したいエネ  
ルギーにあふれた方・団体、入会お  
待ちしています。申込み、問合せは  
783-11025 森下まで。



# 会員プロフィール①

## 金沢区民歌人会

私どもの会は、第二回金沢区民俗文化祭に作品を寄せ合った人達が集まって、平成三年五月に結成した団体です。

その目的は「短歌により親睦と研鑽につとめ、地域の文化向上に寄与する」ことで結社、



流派に捉われないことを心掛けております。幸いにも区内にある短歌団体やそれぞれの結社に属する人達の参加を得て、会員数は現在五十二名に達しました。会員は各々が所属する結社で個性的な活動をしておりますか

ら、私達の会は各人がその蓄積を持ち寄った交流の場です。行事は年二回の歌会ですが所属では味わえ得ないものがある筈です。

地域文化の発掘と進展に関わる講演会も行っており、仮えば「徒然草の兼好法師と横浜の關係」、「尾山篤二郎の人と歌」などを取り上げました。今は「現代歌人の人と作品」をシリーズで始めました。ご期待下さい。

(上原照男)

## 金沢三曲会

『今日は、金沢三曲会です』  
 『三曲つてなんのこと?』  
 『……………』  
 『箏曲三絃を教えてください』  
 『箏曲つて?三絃つて?』  
 『……………』  
 『尺八を教えてください』



『あア虚無僧のあれエ!』  
 『……………』  
 説明しないと中々わかってもらえない今日この頃ですが、日本古来の楽器を使って、日本の音楽を奏でて(吹いて)いるの何か変ですよ!

さて金沢三曲会ですが、昭和53年、区内の尺八・箏・三絃の教授者とその門下生により結成

## 金沢華道会



金沢華道会の華展も今年で四十七回になる。初代の会長森先生、二代目の三井先生と、よき指導のもとに、現在まで続けられたのではないかと思う。展示会場もなくて、金沢小学校の教室や、サニーマートの店先に置かせてもらったこと等、なつかしく頭にうかんでくる。やがて区庁舎も建替えられ、二階のホールにすばらしい展示場を作つて下さつた、井上区長さんが思い出される。

釜利谷開発とともに、金沢区も発展の一途をたどつて庁舎もせまくなり、増築改造され現在

されました。

邦楽の普及と、地域文化の発展に貢献する事を目的に活動を続け、現在会員数88名を擁し、秋の演奏会も18回を数えます。

先の?の答えと、『……………』の訳をお知りになりたい方、どうぞ聴きにいらして下さい。

十月八日(日)金沢公会堂午前十一時開演です。(佐野史瑞子)

の展示場になった。(月曜から金曜日まで諸流が順番に展示する)

秋の華展は地区センターができたので、大会議室を借用して立派な展覧会を開催することができた。

金沢文化祭にも参加し、諸流の先生方が力を合わせ、伝統華道の推進に励んでいる。最後に文化センターの夢を實現させたい。(会長 石井香月)

## 人形作り 会

十五、六年前、テレビで米山京子の抱き人形を作っているのを見て、本を買って作って見たもの、なかなか思うように出来ずにいたところ、抱き人形を作っている先生に出会い、それからたくさんの人形を作っており、友達が遊びにきて、教えてと言ったのがきっかけで、今では月二回の割合で人形作りを楽しんでおります。

一枚の布から頭、胴、手、足と作り、洋服はデザイン?をして着せております。

夕方になると主婦に戻り、夕食は何にする、といったグループです。(木村任子)